



A-PLAT

気候変動適応情報プラットフォーム

CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM

「適応」とは、変化する気候にあわせて私たちの生活を変えていくこと。

気候変動適応情報プラットフォームは、「適応」に役立つ情報を発信しています。



気候変動適応とは

一番分かりやすい「気候変動適応」の解説。いくつかの例とともにご紹介しています。



国の取組

気候変動への適応に関する政府の取組、関係府省庁の適応に関する取組を紹介しています。



地域の適応

気候変動影響への適応は、それぞれの地域特性を考慮した取組が重要です。A-PLATでは地域気候変動適応計画の策定や地域気候変動適応センターなどにおける情報拠点の最新動向をはじめ、科学的知見を活かした地域の適応推進を目指していきます。



事業者の適応

「事業者の適応」では、事業者向けの気候変動適応情報をご提供しています。事業者向けの情報・資料、取組事例、イベント等を確認できます。事業活動における適応の取組を進めるためにご活用ください。



個人の適応

真夏日、猛暑日が以前よりも多くなった、大雨による浸水被害が増えているなど気候変動の影響。誰もが安心して暮らせる社会を作っていくために、気候変動影響への「適応」について、一緒に考え、そして行動していきましょう。



Pick Up



気候変動の観測・予測データ

気候、影響に関するマップ (WebGIS) やグラフ、適応に関する施策情報をご覧になれます。(全国・都道府県情報)



将来予測 (S-8「年平均気温」)



観測データ (全国の平均気温、降水量、真夏日、猛暑日)



データ・資料

気候変動影響や適応に関する資料などがご覧いただけます。



学術論文、学術論文以外の資料、統計データ



事業者の適応に関する参考資料



緑の気候基金 (GCF) GCF データベース



インタビュー

地域の適応計画と適応策、地域気候変動適応センターなど、取材に基づいて紹介しています。



左：宮崎県「牛も人も快適な暮らしを目指して」
中央：三重県「炭疽病に強い極早生イチゴ『かおり野』」
右：宮城県「東北初の地域気候変動適応センター設置」



気候変動適応 e-ラーニング

これから気候変動適応に取り組む方向けのコンテンツです。

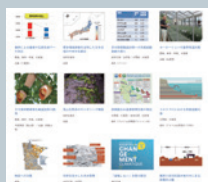


e-ラーニングより



適応策データベース

気候変動適応策の事例集です。国や自治体、事業者等による適応の取組事例を紹介しています。



適応策データベース



世界の適応ニュース

海外の気候変動適応に関する最新動向として、国際機関や諸外国の行政・研究機関等のニュースを紹介しています。



世界の適応ニュースより



パンフレット

気候変動適応を解説したツールなどご覧いただけます。普及啓発活動や教育の現場などでご活用ください。



パンフレットより



気候変動関連動画

国内外の「気候変動」や「適応」に関連する動画を掲載しています。



「2100年未来の天気予報」【冬】(2019年)
出典：動画チャンネル環境省 COOL CHOICE

「2つの気候変動対策」どちらも欠かせません

気候変動の影響は、私たちのくらしの様々なところに既に現れています。気温上昇による農作物への影響や、過去の観測を上回るような短時間強雨、台風の大型化などによる自然災害、熱中症搬送者数の増加といった健康への影響など。これまで広く知られてきた「緩和策」と呼ばれる、温室効果ガスの排出量を減らす努力などに加えて、これからの時代は、すでに起りつつある気候変動の影響への「適応策」を施していくことが重要になってくるのです。



緩和策とは

人間社会や自然の生態系が危機に陥らないためには、実効性の高い温室効果ガス排出削減の取組を行う必要があります。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力が緩和策です。



適応策とは

緩和を実施しても温暖化の影響が避けられない場合、その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していくことが、適応策です。

「緩和」と「適応」は車の両輪です！

気候変動適応法

気候変動への適応を推進することを目的として、気候変動適応法が平成30年6月に公布、同年12月に施行されました。本法では、政府による気候変動適応計画の策定、環境大臣による気候変動影響評価の実施、国立研究開発法人国立環境研究所による気候変動への適応を推進するための業務の実施、地域気候変動適応センターによる気候変動への適応に関する情報の収集及び提供等の措置を実施することが定められています。気候変動対策の更なる推進が期待されます。

各分野において、信頼できるきめ細かな情報に基づく効果的な適応策の推進



農業・林業・水産業



水環境・水資源



自然生態系



自然災害・沿岸域



健康



産業・経済活動



国民生活・都市生活

気候変動の影響に

適応しよう

はじめよう！個人でできる「適応」の取組

これらは「適応」の一例です。

1 水を大切に使おう！

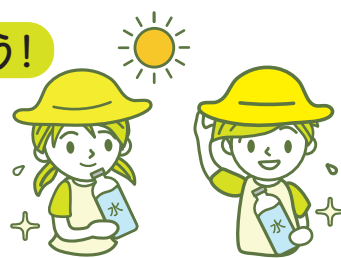


気候変動の影響によって、雨が降る日がだんだん少なくなる可能性があります。ふだんから水を大切に使いましょう。エネルギーの節約にもなります。



2 熱中症を予防しよう！

気温が上がることで、熱中症になる可能性が増え、これまで以上に熱中症に気をつける必要があると考えられています。暑い日は、こまめに水分補給したり、外に出るときは、帽子をかぶったりして、熱中症予防しましょう。



熱中症の主な症状

1. めまいやぼてり
2. 筋肉痛・筋肉のけいれん
3. 体のだるさや吐き気
4. 汗のかき方がおかしい
5. 体温が高い、皮ふの異常

3 自然災害にそなえよう！



雨が降る日が少なくなる可能性がある一方で、一度に降る雨の量が極端に多くなったり、大型の台風が来る可能性があります。災害にそなえるために、避難場所や避難経路を調べておくことも大事です。

4 虫刺されに気をつけよう！

気温が上がることによって、寒い地域に住めなかった虫が、北上する可能性があります。例えば、デング熱という病気を広める蚊の住める地域が北に広がっていますので注意しましょう。



デング熱について

ヒトスジシマカ等の蚊が運ぶウィルスが原因となる病気です。2014年、代々木公園などで感染したと考えられる患者が発生しニュースになりました。温暖化が進むことによって、将来的に流行することが心配されています。